

# 生きがい

第 14 号

発行

公益社団法人

栃木市シルバー人材センター  
広報委員会

平成29年2月15日

〈ダイヤモンド筑波 大橋佑介会員提供〉



## 新年のご挨拶



理事長

大塚 紀通

新年明けましておめでとうございませう。

近年少子高齢化が著しく進み、労働力人口が減少している中、働く意欲のある高齢者が活躍することが出来る「生涯現役社会」を実現することが益々重要となっております。栃木市においても市の人口の約29%が65才以上の高齢者ですが、此処にきて高齢者の生活が大変厳しさを増しています。先細る年金制度、老人医療費の負担増や介護保険の給付の見直しなど今後超高齢化社会の到来を理由に「給付金の抑制」や「負担の増加」が懸念されるところで

すが、シルバー人材センターは今や「自主・自立・共働・共助」を基本理念とし、地域の日常生活に密着した就労を通じて高齢者の生きがいと社会参加を促し、地域社会の活性化と医療費の削減に寄与してお

り、高齢者のセイフティネットの役割を果たしつつ「生涯現役社会」に向けて、その存在意義は益々高まっています。

全国のシルバー人材センターの会員は現在72万人おり平均年齢71.5才でここでは70才が働き盛りとも言われています。栃木県の会員は10,161人で栃木市は881人ですが、「元氣だから働くのでなく、仕事をするから元氣になる」のだと思います。例えば1カ月のうち「10日働き、10日は家」という生活スタイルで、収入は自分の趣味や孫へのこずかい、生活費の足しに充てることもあるでしょう。少し前のデータですが全国の会員1人当りの総医療費は一般高齢者より年間6万円低く健康寿命を延ばす役割を果たしています。

これから新しい時代に対応し、地域に親しまれた活動を力強く進めるためセンター事業への更なるご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

結びに会員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

# 事務局だより

## 優良シルバー人材センター受賞

栃木県シルバー人材センター連合会設立20周年記念式典が、平成28年10月25日（火）とちぎ健康の森講堂において開催されました。

連合会設立20周年を記念として、3つ顕彰が執り行われ、その中の優良シルバー人材センター表彰として、永年にわたり、地域の高齢者の就業に貢献し、他の模範となる事業を行っているシルバー人材センターとして、栃木市シルバー人材センターが表彰されました。



## 局長退任の挨拶



事務局長 飯塚 和男

会員の皆様には、日頃より当シルバー人材センターの運営にご協力ご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、任期満了により3月31日を持ちまして退職することになりました。3年間の短い期間ではありましたが会員の皆様には大変お世話になりました。

ふりかえりますと、この3年間の思い出としまして、就任当時すでに策定されていまして第2次再編基本計画に基づき、計画を推進いたしました事業所の統合、本部移転問題、そして、統合5周年記念事業であります。

統合説明会においては会員の皆様から統合による不安等により厳しいご意見がございましたが、ご理解のもと無事に統合が出来たことを感謝申し上げます。

今後、当シルバー人材センターが将来的にも持続可能なセンターとす

るためにも、あらためて今回策定いたしました第3次再編基本計画は、会員の皆様に安定した仕事と収入を得ることが目標であります。

発足当時のシルバー人材センターは、主に「生きがい」を目標に運営してまいりましたが、最近、国においては「二億総活躍社会」として、家庭・職場・地域で誰もが活躍できる社会を目指すということで、高齢者にも活躍の場を求める施策となっております。そして、「年金額の抑制」とともに収入の補填としての意味合いが強くなっております。

このようなことから、今後、シルバー人材センターの役割が益々重要となつてきており、新たな分野として学童保育、介護事業などの受注が増えていくこととなりますので、皆様の活躍の場が広がって行くと思えます。

また、地域社会への貢献としての河川、公園、道路等の清掃ボランティア活動や会員互助会による親睦活動を通じて更なる発展をお祈りいたしております。

結びに、会員の皆様のご健勝とご活躍を願い退任のご挨拶といたします。

## 配分金の改正

平成28年10月より栃木県最低賃金が775円に改正されました。

シルバー人材センターでは、会員は、請負・委任契約に基づいて、仕事をすることになるため、雇用関係はなく、労働関係の法律等（最低賃金法等）は、適用されません。また、会員が仕事をした時の対価を「配分金」といいますが、この配分金は、労働基準法における「賃金」に該当しません。

当センターの配分金単価につきましては、地域における仕事の一般的な対価に比べて著しく低くならないよう、仕事の種類、量、内容等と合わせて、栃木県の最低賃金を考慮して、見積もりとして発注者の方に提示して決定しています。

当シルバー人材センターでは総務委員会、理事会において栃木県の最低賃金を考慮し配分金を改正することが議決され、次により最低額の配分金改正を行います。

- 改正月日 平成29年4月1日
- 最低配分額 時給 770円

**第3次再編基本計画**  
(平成29年度～平成33年度)

平成29年1月27日制定

**1 基本的な考え方**

国において新たな新規事業等により補助金が増額されるとともに、事務所統合後の事業実績、財政状況等を鑑み、会員の利便性を考慮して第2次再編基本計画を廃止して、あらたに第3次再編基本計画を策定し、当分の間、財政収支状況を勘案しながら現状の実施体制で取り組むこととする。

**2 計画期間**

平成29年度から平成33年度の5か年計画とし、計画的・段階的に取り組む。

**3 事業実施体制**

栃木市地方都市リノベーション事業の実施により平成32年度から本部(栃木センター)を(仮称)栃木市地域交流センターに移転する。南部事業所、北部事業所及び3連絡所(大平、岩舟、西方)は当分の間、現状で存続するものとする。連絡所の業務は、会員への就業

連絡及び就業報告書の回収業務に限定する。本部との書類(受注票・就業報告書等)のやり取りは連絡所等を通じて行い、連絡所の業務以外の業務は、全て本部の業務とする。

**4 職員体制**

職員体制は、14名(行政OB職員、プロパー職員、嘱託職員)以内とする。その他に、補助員2名を配置する。

職 員	栃木センター (本部)			
	総務課 (局長含む)	業務課 (兼務(大平連絡所))	南部事業所 (兼務(岩舟連絡所))	北部事業所 (兼務(西方連絡所))
事務職員	3	5	3	14
補助員	-	1	1	2

※補助員は定数外

○平成29年度～33年度

**5 その他、計画実現に向けた取組み**

就業機会の拡大等、事業収入の増収対策や地域班・職群班の編成等、計画実現に向けた取り組みは、第2次計画を継承し、更なる強化、充実を図る。

○高齢者活用・現役世代雇用  
 サポート事業の推進

- ・派遣事業所の拡大推進
- ・派遣の就業延人員の目標

年間1,001人以上

- ・サポートコーディネーターの活用

○就業関連機材(車両を含む)の取扱い  
 〈調整方針〉

- ・車両：残滓運搬用、動力噴霧器用、芝刈り機用等の車両は引き続き事務所で保有・管理するが、それ以外の車両は適宜、廃車または関係会員への払い下げを行う。
- ・機材：動力噴霧器、芝刈り機等の機材は引き続き事務所で保有管理するが、それ以外の機材は適宜、関係会員への払い下げを行う。

○地域班・職群班の編成  
 〈調整方針〉

- ・地域班：事務所と会員、また会員同士の連携を深めるため、各連絡所の実情に合った地域班を適宜、編成する。
- ・職群班：「共働・共助」及びグ

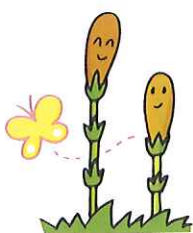
ループ就業、また円滑な就業の実施を図るため、各連絡所の実情に合った職群班(植木班、草刈り班等)を適宜、編成する。

○就業機会の拡大等増収対策

- ・公共事業の受注拡大：市長(正副理事長、専務理事対応)、関係部署(事務局長・所長対応)への要請活動
- ・事業所へのPR：商工会議所・商工会及び関係事業所へのPR(地区理事・所長対応)
- ・一般家庭へのPR：会員による口コミPR(1人当たり年間目標10件)
- ・啓発チラシの配布：年3回新聞折り込みの実施により会員募集、就業開拓を図る

**6 会員・役員・職員との十分な連携**

会員・役員・職員との十分な連携を図りながら取り組む。



### 栃木センターだより

《栃木地区》

10月15・22・29日の各土曜日

3事業所ごとに、佐野中央病院院長であり医学博士の山崎穂高先生を招いて、「健康づくり講習会」を開催いたしました。参加会員は全体で143名となり、山崎先生のユーモアを交えた講義に皆、耳を傾け、また質問多数となり大変有意義な90分でした。



1月24日(火)

普段から草刈作業に従事している会員、全地区96名中、63名の出席で、栃シ連の黒崎氏を講師に迎え草刈安全講習会を開催しました。草刈作業はチップソーで石を飛ばす事故が格段に多く、自身はもちろん他者への防護を十分に図らなければなりません。全員にヘルメットを配布しました。

ので、事故防止に役立てていただきます。と思います。



《大平地区》

7月8日(金)

清掃ボランティア作業として、日立北路線の道路両側歩道と植込みの中のゴミ拾いを会員8名の参加で行いました。当日は小雨模様の天候でしたが、かえって猛暑から逃れることができました。1時間程の作業時間でしたが、歩道上の吸い殻ゴミや植込み中の空き缶類など、思ったより多くのゴミを集めることができました。



### 北部事業所だより

《都賀地区》

平成28年11月19日(土)

まるまるまるごとつがまつりにあわせて北部事業所駐車場においてJAのブースを二部おかりしてセンターのPRを実施しました。

当日は、天候が悪いにもかかわらず、来場者も多く無料ガラポンでの景品の配布もあり、用意した300枚のチラシがあつという間になくなり受注拡大また、入会促進に期待できそうです。



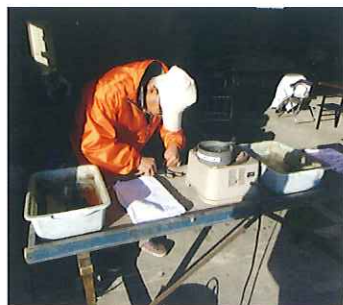
平成28年12月3日(土)

毎年恒例のつがの里でのボランティア作業を会員62名参加のもと、落葉さらいを実施しました。

平成28年12月9日(土)

北部事業所事務所前において初めての刃物研ぎ(独自事業)を開催しました。都賀地区の会員3名で、

朝9時から受付を開始し、初めは、利用者の出足が悪く心配しましたが徐々に注文が入り、結果15,000円の売上実績となりました。



《西方地区》

平成28年11月26日(土)

統合後初めてのボランティア作業を西方ふれあいパークにおいて会員26名参加のもと実施しました。内容は、バーベキュー広場から林間広場にかけて落葉さらいと側溝清掃を実施しました。



南部事業所だより

平成28年4月より、岩舟地区と藤岡地区が一緒になり、南部事業所としてスタートしました。特に岩舟地区においては、事務所に職員が不在になる時間ができた事で、不便に感じることも多かつたかと思えます。

今回、互助会含め行事関係の紹介をします。

《藤岡地区》

4月16日(土)

渡良瀬遊水地クリーン作戦(国・県・市で共催)に良い天気にも恵まれた中、一般の人達と交流しながらのゴミ拾いに会員42名が参加してくれました。



11月26日(土)

藤岡産業祭に刃物研ぎ出店と普及啓発のチラシ配布を会員3人の協力を得て実施しました。



11月29日~30日

戸倉上山田温泉の研修旅行に会員26名と大型バスで、上田城址公園と真田丸館、海野宿、懐古園、小諸ワイナリーをまわってきました。

12月15日(木)

そば会に25名が参加し、会員が講師となり、そば打ちと天ぷら担当に分かれ、年越し手打ちそばを堪能しました。



《岩舟地区》

10月8日(土)

岩舟総合運動場、公民館、文化会館周辺のゴミ拾いに、あいにくの雨模様の中、会員43名の参加となりました。見た目にはきれいに見えても拾ってみると少なくないゴミに驚かされました。その後、互助会主催のグラウンドゴルフをみんなで楽しみました。



10月16日(日)

岩舟健康福祉・環境まつりにヨー釣り出店と普及啓発のチラシ配布を会員5人の協力を得て実施しました。



1月10日(火)

岩舟公民館の植栽剪定とゴミ拾いに植木・草刈関係の会員17名に参加してもらいました。



地域貢献と会員同士の交流の場でもあるこのような活動を今後も続けて行きたいと思っております。参加していただいた会員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

### 会員互助会だより

#### グラウンドゴルフ交流大会

大平町グラウンド

平成28年10月22日(土)

グラウンドゴルフ愛好会の皆さん46名が集い、第2回の交流大会が行なわれました。日ごろの練習の成果を発揮し、ホールインが多発して用意した商品が不足する事態が発生し、スタッフたちを慌てさせました。



#### 栃木地区互助会親睦旅行

万座温泉「万座亭」

11月1日(火)～2日(水)

八ッ場から西の河原公園を経て万座温泉に宿泊しました。草津の温泉源とは違う、やはり名湯でした。



#### 栃木センターボランティア

##### 清掃作業に参加

12月1日(木)

年末が近づくと、栃木センターでは例年の通り巴波川下流の清掃作業が行われます。今年

は朝からの雨がやまず、参加者の皆さんがやきもきしていましたが、例年同様70名近い会員が集まり、作業を始めました。ゴミの量は何時に

なく少なかったため、早めの解散となりまし



### 栃木地区

#### 感謝会に招かれて



会員

中田 勝治

平成28年11月29日、第3小学校体育館にて児童会主催による感謝会が開かれました。交通指導員、スクールガード、語りべの会が招かれました。

感謝会は明るい雰囲気の中始まりました。今回は三部会を代表して、私がお礼の言葉を話す

ことになりました。交通安全について話をしようと思いましたが、

平成16年6月中旬交通事故に遭いました。事故の恐ろしさ、意識不明、いつ目が覚めたのかも分かりませんでした。頭、下顎骨折、右肩骨折、左足複雑骨折、右足骨折で動くのは左腕だけでした。こういう思いをさせないために子供達には事細かに指導してきました。歩行者は右側通行を守り、楽しく学校生活を送るようお願いいたします。

新年度を迎えるにあたり父兄、地域の方の協力をお願いします。登下校の見守りと防犯パトロールにも力を入れていきます。道路標示、標識を守って下さい。

私は登下校の引率をしながら思うのは、信号、道路標示を守らない車が多いという事です。子供達を横断歩道を渡す時、歩道の信号が青になっても直ぐ渡らないように、車が完全に止まってから渡るように話をしています。実際青になって渡ろうとしたら車が信号無視してきた

事もありません。道路標示に止まれと書いてありますが私自身何度も危ない目にあっています。これからも子供達の安全を見守っていききたいと思えます。



〈感謝状授与〉

### 私の生きがい



会 員  
酒 巻 和子

私はシルバー人材センターに入会して早三年になります。入会した時から除草作業をやっています。その時はとても不安でいっぱいでした。少しずつ仕事にもなれ、今では依頼主の方から感謝の言葉を頂き、この仕事をしていて本当によかったと

思っています。

又、仕事の合間には食事会、旅行などに出かけ充実した日々を送っています。本当にシルバーセンターに入会してよかったと思う毎日です。これからも、もっと頑張つて仕事をやっていきたいと思っています。

## 藤岡地区

### シルバーでの仕事



会 員  
小 野 照雄

定年退職後、知人からのお願いもあり、公民館管理の代わりの方々と、引き受けしたのがシルバー人材センターに入会する、始めとなりました。

各自自治体に事業所が有る事は知っていましたので、色々な業務・仕事を見聞きすることになりました。週3日交代での管理業務、毎月の広報紙の折り込み配布、多種多様な農作業の手伝い、草刈り、除草、特に夏場の仕事は大変です。ピニールハウスのペンキ塗り、ナイロン

張替、初めての経験ばかりです。

やり甲斐のもてる事、これからも気合を入れて、と思います。仕事後のビールにも、お客様の笑顔にも、疲れをいやされて頑張っています。

これからシルバー人材に入会できる世代の友人を、みんなで誘いましょう。社会とのつながりや、仲間づくりは長生きの秘訣です。



広報紙折込作業

### シルバーに入会して



会 員  
亀 下 清

私は、シルバー人材センターに入会して7月で2年目になります。

退職を機に藤岡町に住まいを移しました。当初は慣れない田舎暮らしに戸惑いの日々でした。

そんな時、ご近所のシルバー会員の大先輩から当会へのお誘いを頂き、入会させて頂きました。前の職場は印刷関係の仕事でしたので1日中屋内での作業でした。(1日の作業の段取りやら締切りやらで、気の抜けない日々でした。)

そんな私が新しい居場所を見つけたのはシルバーセンターのおかげです。

初めての仕事は農作業の手伝いでした。田畑に出るの作業は新鮮なことでしたが、正直、大変なモノがありました。

次いで草刈の仕事も始まり、毎日必死でみなさんについてゆきました。それでも今まで考えられなかった自然の中の作業に充実感を覚えたものです。そんな折、栃木市の広報紙の折り込み配布の仕事をするようになりました。初めて目にする自治会長さんのお宅を、地図を片手に捜して覚えめました。おかげで地域の様子(風習や行事等々)も分かるようになり今日に至つ

ております。

新しい友人関係も生まれ、現在では生きがいを見つけられた幸せを感じている日々です。

これからも人との関わりを大事に過ごしてゆきたいと思えます。



〈不良大豆の選別作業〉

## 都賀地区

### 恐怖のガーデニング



会員  
佐藤 銀次郎

私の「生きがい」の一つに野菜作りがある。年間20種類以上も作っているので購入する野菜

は極わずかで済む。畑で「怖い事件」が起きたのは昨年の6月頃だったと思う。朝早く畑へ行くと、ネギの畝の間にカラスの幼鳥がいた。近づくると、突然2羽のカラスが鳴き声高く、顔を目掛けて襲ってきた。急いで身を屈め、全力で走って逃げた。

これは親カラスが我が子を守ろうとして、攻撃してきたのだ。このように子供を懸命に守り育てる動物たちに感心させられる。それに引き換え、人間（大人）の子供に対する苛烈な所行が多い。一例を挙げると、28年5月28日、北海道七飯町東大沼で、両親が7歳男児（小学2年生）を山林に置き去りにし、行方不明になった事件があった。

男児は毎夜、漆黒の闇の中で、母親の温かい胸に縋りつきたいという一途な思いから、滂沱（ほうた）していたに違いない。男児は6日ぶりに無傷で保護された。しかし、これですべてが落ち着いたわけではない。最大の問題は心のダメージで、トラウマが残存していくことだ。私もカラスに襲われ、完全にトラウマになってしまった。男児が今後、林間

学校などに参加したとき、逡巡することなく森の中へ入って行けるだろうか。日進月歩の現代医学でも、トラウマを短期間で払拭する特效薬は無いだろう。徐々に薄めていくためには、「朝起きて最初に見る私たちの子どもたちの笑顔や、食卓越しの伴侶からの優しい触れあい、親からの心安らぐ抱擁」>(\*注)のように、家庭の温もり・慈愛が濃縮された無形の“漢方薬”を長い時間をかけて服用していくしかない。ともあれ、この男児のトラウマが早く雲散霧消していくことを心から祈るばかりだ。

今年もカラスの鳴き声に怯むことなく、野菜作りに精を出すつもりである。

(\*注)28年5月27日、オバマ米大統領が被災地広島市で演説した英文の一部を引用しました。(和訳 朝日新聞社)

### もう一歩前進



会員  
軽部 誠

シルバー会員に入会してから早いもので1年半を過ぎました。仕事内容は、都賀地域の公

民館、体育施設の予約管理等を帳簿とパソコン管理で処理することです。当初は慣れないことから大変時間がかかり、迷惑をお掛けしました。

私たちメンバーは夜5時15分から10時15分まで、月8回程度の勤務を4名の話し合いで決めているのでスムーズに移っています。

いろいろな趣味会・スポーツ活動、福祉活動、各種団体の会議等、多くの方が利用していますので、トラブル等が発生しないよう心掛けています。

利用者には、申込終了時間の遵守と後始末の徹底等を指導しています。

これからこの仕事を続ける為には、健康体に尽きると思うのでウォーキング「有酸素運動」等による筋力アップと食事、人とのつきあいや趣味など社会活動を活発にして認知症の予防に努力したいと思えます。

これからも多くの地域の人達と仲良くして信頼関係を深め、頑張りますのでよろしくお願ひします。



# 大平地区

## 働くこと



会員  
高橋 功

46年の間工場勤めをしていたので、退職したら好きなことをしようと思っていたが、毎日好きな本を読んで、ゴロゴロしていれば、女房に粗大ゴミ扱いはされるのは確実、それでは喧嘩ばかりしているなと思い、知人が定年後すぐにシルバーで働いていたのを思い出し、自分もやってみるかと入会したが、特技があるわけではないので、最初の仕事は、講習会の受付だった。その後も単発の仕事を紹介されたが、7年前に公民館の休日管理人の仕事を斡旋され、現在に至っている。工場とは違い環境は良いし、一人勤務だが、担当している他の3人のメンバーもみな良い人で、色々助けられた。特に先任の人には教わる機会が多かった。歴代の館長さん

職員さんにも、対応に困ったときは快く対処していただき心強い気持ちを持って勤務ができた。

働くという目的を持つと、健康に気を付けるようになり、病気になるような無理なことや、無茶なことを避け、風邪をひいても、早く治す努力をするようにもなった。また公民館に来られる初対面の方々と話すのでポケ防止になっていると思っ  
ている。館内巡回などで足も使うので、体力が衰えないように、毎日ウォーキングを1時間ほどし、極力車には乗らずに自転車を活用している。自分では働くことは健康につながる事の一つだと思っている。

## シルバーと日常生活



会員  
大塚 清

定年前、事務職をしており、毎日が社内での仕事でした。身体全体を動かさず不健康で

肥満型になり、健康には良くないと思いつつ定年を迎え、さて、これからどう生きようか考え、シルバー人材センターに入会致しました。

会員になって早1年が経ち、現在、大平運動公園の芝刈り、草刈り、落ち葉の掃除等をしています。

私は、今の仕事をしていて、本当に良かったと実感しています。何故なら、太陽の光を浴び四季を感じ、生きていることの素晴らしさを仕事を通して実感しているからです。また、休日には大平連山を歩きながらエリア



〈太平山エリア フライト〉



フライトより眼下の光景を眺め、皆さんと、おはよう、こんにちは、と挨拶を交わし、ここで一息とお弁当を開き、食べながら、又会話し、健康であることが一番と痛感しております。今、シルバー人材センターにお世話になったおかげで仲間と共に働き、会話をしながら何時までも充実した人生が送れるように願っております。

## 西方地区

### 喜びの人生



会員  
小栗 喜作

私達、昭和一桁生まれは、小学校の頃、第二次世界大戦の真つ只中で物資、食料共に不足の時代でした。農家でも収穫した米や麦などは強権発動で軍隊に供出（納入）していたので食料不足で農家の次男として生まれた育ち盛りの私はいつもお腹を空かしていました。

当時の農業は今のよう機械化されてなく何でも手作業で行なう体を酷使しての農作業でした。一家総出で仕事をして小学6年生の私も農作業の手伝いに明け暮れました。

あの頃は何処の家庭でも同じような生活環境で困窮していたので辛抱する時代でした。

やがて終戦となり国民全体が休む暇を惜しんで無我夢中で働き現在の経済大国となり平和で

豊かな国になりました。巷には物が溢れていて、お金さえあればコンビニやスーパーに行けば食べ物は何でも手に入る時代になりました。正に飽食の時代です。

私達の若き日を思えばもったいない位です。何でもありがたいたいと思つて物を大事にする心が大切に思えてなりません。日常生活の中、夜はぐつすり良く眠れる、朝、目が覚める手足が動く、見える目、声が出る、聞こえる耳、息を吸ったり吐いたり呼吸が出来る、心臓が動いている、ありがたい、今日も生かされている喜び、朝ご飯が美味しい、味噌汁が美味しい、美味いと感じることが出来る喜び、外に出て呼吸をする、今日も天地いっぱい生かされて生きる尊いこの命、ここに命がある素晴らしい喜びの人生。

### もう一つの生きがい



会員  
狐塚 光一

私が長い会社組織から解放されて、大きな責任からも逃れることが出来たのは70歳を過ぎた頃でした。しかし、まだ働ける、そんな思いと健康にも自信がありました。

そんな時、近所の友人からシルバー人材センターを紹介されたのです。

正直言つて多少の躊躇はありましたが入会を決心しました。初年度は、草刈りからはじまって庭木の手入れなど広範囲にわたる作業でした。

次の年から、私の以前の経験もあつて期間限定の真名子カントリークラブのコース内の植木の手入れの作業が5年間続いています。町内至る所の作業を続けて来て最近とても気がかりな事に直面しています。それは山林ばかりでなくあらゆる所で土地の荒廃が目立って来た事です。特に真名子においては、有

害鳥獣（シカ・イノシシ）の急激な増加によつて田畑はもちろんのこと耕作放棄地が増え続けている現状です。さらに真名子では、高齢化の波は、会員減少にも拍車をかけ歯止めがきかなくなっています。少しでも若い人材が加入して、増々荒廃して行く地域を守つて行くことが、私がこの会に入り一つの生きがいを目指した結果にしたいと思っています。



〈岩野 正二 会員 作〉



# 岩舟地区

## 元気に生きる



会員  
市村 博子

地元で新しく建設された公民館が、2月に開館するので、求人募集をしているとの話を聞き、私にも出来る事が有るだろうかと戸惑いながらも初めてシルバー人材センターを訪れて以来、早いもので3年が過ぎようとしています。その間、互助会の行事にも多数参加させて頂くことで、沢山の出会いと笑顔に助けられ、励まされ、仕事は勿論ですが不安な気持ちも少しずつほぐされて、慣れ親しんでいく自分を今感じています。

私の出勤時間よりも早々と、グラウンドゴルフに勤しんでいるシニアクラブの皆さんからも、いつばいの元気を頂いて私も穏やかな人生をと願っています。何時までも自分の足で歩けるように、有酸素運動、脳トレ、

筋トレ、ストレッチを兼ね、私も職場を会場に週1回の練習をみんなとウキウキ気分分で汗を流して楽しく頑張っています。

元気の秘訣は楽しく身体と頭を動かすことです。身体と頭の体操を心掛け、皆さんも共に元気に楽しい人生を送りましょう！

## 大空の散歩



会員  
堀内 晴雄

入会して4年過ぎ、シルバーで紹介された片倉工業所の仕事も多くの方に教えられ、今は新しい方に少しずつ教えることが出来るようになり、生きがいを感じながら楽しい日々を過ごしています。

同じ職場の気の合う仲間同志でセンター互助会主催のバスツアーに参加し、他の職場の方と交流する事もできました。他にも多くの仕事があることを知りました。また町の交通安全協会の役員として、交通安全のため



〈交通安全運動〉

交差点に立つて活動しています。

趣味で始めたパラグライダーは26年に、今は県立みかも公園で普及活動を進めています。働きながらですので活動の中心は土、日曜日で、初心者や一般フ

ライヤーの講習を行っています。みかも山は160メートルの所から飛ぶ初心者向けの高さであり、上昇気流に乗ると関東平野が一望できる醍醐味に惹かれます。飛ぶには45kg〜240kgの体重を浮かす翼があるので誰でも気軽に空の旅をする事ができます。2人乗りのタンデムで飛ぶためには体重制限があります。1人で行うには45kg以上で無いと出来ません。上限は2人乗りで240kgまでなので誰でも飛ぶ事が出来ます。インストラク

ターと2人で飛ぶときは5000〜8000円の費用が掛かりますが空の旅が出来ます。今後の目標は健康で毎日元気で働くこと、妻と旅に出かけること、生活を安定し天空高くパラ仲間と飛ぶ事が出来るよう頑張ります。今後は健康で働きシルバー活動に参加し、職場仲間との交流、パラグライダーを普及し明るい家庭を基盤に全国の空を飛び回ります。



**統計速報** 平成28年度事業実績(H28年7月~H28年12月)

(金額単位:円)

区分	受注件数	就業人数		契約金額			計	
		実人員	延日人員	配分金	材料費等他	事務費		
公共事業	759	/	2,610	45,662,222	4,475,531	4,557,368	54,695,121	
民間事業	企業等		1,659	4,629	126,718,137	6,315,442	12,648,713	145,682,292
	家庭		3,641	7,142	57,278,020	12,129,165	5,727,588	75,134,773
	独自事業		8	36	125,300	6,100	2,800	134,200
	小計		5,308	11,807	184,121,457	18,450,707	18,379,101	220,951,265
合計	6,067	769	14,417	229,783,679	22,926,238	22,936,469	275,646,386	
前年実績	6,093	766	14,508	220,109,483	24,963,757	21,970,608	267,043,848	
増減	-26	3	-91	9,674,196	-2,037,519	965,861	8,602,538	
増減率	-0.4%	0.4%	-0.6%	4.4%	-8.2%	4.4%	3.2%	
公共事業増減率	7.2%	/	4.1%	8.5%	-9.6%	8.6%	6.8%	
民間事業増減率	-1.4%	/	-1.6%	3.4%	-7.8%	3.4%	2.4%	

**事故速報** (H28年度7月~12月)

平成28年度7月~12月累計	傷害・賠償	件数	内 訳				平成27年度同期累計					
			事故の程度		性別		傷害賠償	計	事故の程度		性別	
			入院	通院	男性	女性			入院	通院	男性	女性
傷害	16	1	15	15	1	傷害	7	1	7	6	1	
賠償	14	0	0	14	0	賠償	11	0	0	11	0	
計	30	1	15	29	1	計	18	1	7	17	1	



**編集後記**

少子高齢化が進み、年金制度改革による年金支給額の抑制、医療費や各種保険料の負担増加等々、先行き不安材料はあるけれど、何より健康で働ける事に感謝をしながら質の高い仕事を提供し、お客様から信頼されるよう心掛けたい。

仕事にも慣れてきたこの時期、特に注意したいことは

\*『慣れても、狎れるな』であります。

\*1 「慣れ」と「狎れ」、立心偏が獣偏に変貌すると、生活規律や人間関係に様々な亀裂を生じ、トラブルや事故が起こり易くなるので注意が必要である。

\*2 (なれる)

……(慣れる)何度も経験して、緊張したり失敗したりすることがなくなる。

……(狎れる)親しくなりすぎて、守るべき礼儀をつい忘れた態度をとる。

☆注釈 \*『慣れても、狎れるな』は栃木市教育委員会だより『絆』の委員長のひとこと、の一文を引用したもの。

この様な教えを常に意識し、人生の秋季を仕事や趣味を通して沢山のひと々と交流し、体力、精神面共に上手く付き合ひ、コントロールしながら少し長めの秋を送りたい。

広報委員 三柴 進